

2022年(令和4年)8月12日(金曜日)

2022年(令和4年)8月19日(金曜日)

2022年(令和4年)8月26日(金曜日)

♡ 自分でカレーをつくってみたら……

食育は、単に食に関する情報や知識を伝えるだけのものではありません。家庭や学校、地域の中で、実際にさまざまな体験を積み重ねることによって、自然と食について学んでいくことが、本当の意味での食育になります。

例えば家庭の中で、子供たちにカレーづくりを任せてみたとしましょう。材料を同じような大きさに切りそろえ、炒(いた)めて煮込むという一連の作業は、子供たちにはなかなか大変なことです。多少の失敗はあるかも

道徳で人と社会を幸せに

しれませんが、自分がつくったカレーはおいしいに違いありません。家族からも「おいしい」と評価されればうれしくなって、何度も挑戦する気持ちが湧(わ)いてきます。そのうちに自分なりの工夫を加えるようにもなるでしょう。何より、ふだんの食事をつくってくれる家族への感謝の気持ちも芽生えてくるのではないのでしょうか。

『ニューモラルの心を育てる』第3巻 366頁

「道徳」教科化—ヒントの泉

掲載日から7日間限定で10名様に**プレゼント!**  
道徳を考える月刊誌『ニューモラル』最新号  
住所・氏名・「房日新聞」を明記の上、メールまたは電話でお申し込みください。  
公益財団法人 モラロジー 道徳教育財団 〒277-8654 柏市光ヶ丘 2-1-1  
E-mail:book@moralogy.jp TEL:04-7173-3155

♡ 「腹八分」は企業永続の秘訣

モラロジー(道徳科学)の創業者・廣池千九郎(ひろいけ ちくろう)法字博士、一八六六〜一九三八は、「鶴が千年の寿命を保つのは、腹八分目に食うからじゃ。経営者は急進的な繁栄を望まないで力相応、漸進的に進め」改訂『廣池千九郎語録』モラロジー研究所と語り、欲望のままに自己の力以上の事業に取り組むことを戒めたといえます。企業が永く繁栄していくためには、ゆとりある経営が必要であるということでしょう。こうして「腹八

道徳で人と社会を幸せに

分」の人生訓は、日本で百年以上続いてきた老舗(しにせ)の家訓にも見られるものです。暮らした経営を「腹八分」に抑えて、そこで生まれた「二分のゆとり」を万一の備えとし、あるいは世のため、人のために役立てていく。そうして地道に徳を積み、世の信頼を積み上げてきたことにこそ、老舗が永く続いていく秘訣(ひけつ)があったのです。

『ニューモラルの心を育てる』第3巻 366頁

「道徳」教科化—ヒントの泉

掲載日から7日間限定で10名様に**プレゼント!**  
道徳を考える月刊誌『ニューモラル』最新号  
住所・氏名・「房日新聞」を明記の上、メールまたは電話でお申し込みください。  
公益財団法人 モラロジー 道徳教育財団 〒277-8654 柏市光ヶ丘 2-1-1  
E-mail:book@moralogy.jp TEL:04-7173-3155

♡ 「親の愛」に気づくとき

大学生の照美さんは、半年間のイギリス留学を終えて帰国するとき、異国育ちの自分を大きな愛情をもって迎え入れてくれたホストファミリーの夫妻に、感謝の気持ちを伝えました。すると「あなたの日本の両親とは比べものにならないけれど、私たちもあなたのことがとても大切なのだ」という言葉が返ってきました。このひと言は、照美さんの心を打ちました。二人が自分に向けてくれる思いの深さを知っただけでなく、それまで当然のよ

道徳で人と社会を幸せに

うに受けてきた「自分の両親の自分への愛情」にも気づかされたからです。照美さんは今、当時を振り返ってこう述べています。「新しいことを吸収する喜びばかりが前に出て、自分一人で成長しているかのような錯覚に陥りがちだった私が、周りの人の支えがあつて自分があるのだ」と感謝できるよつになつたのは、夫妻の愛情に触れたことがきっかけだったと思います」

『ニューモラルの心を育てる』第3巻 366頁

「道徳」教科化—ヒントの泉

掲載日から7日間限定で10名様に**プレゼント!**  
道徳を考える月刊誌『ニューモラル』最新号  
住所・氏名・「房日新聞」を明記の上、メールまたは電話でお申し込みください。  
公益財団法人 モラロジー 道徳教育財団 〒277-8654 柏市光ヶ丘 2-1-1  
E-mail:book@moralogy.jp TEL:04-7173-3155

2022年(令和4年)9月2日(金曜日)

人は皆、社会の中で多くの人々に支えられて生きています。この「人と人とのつながり」の大切さ、助け合いの尊さは、災害等が起きるとあらためて気づかされます。

大きな災害で外部からの救援をすぐに受けられないときなど、最も頼りになるのは隣近所の人々です。災害に対する備えは、ライフラインの強化などのハード面が大切なことは言うまでもありませんが、人々のふれあいがあり、心の通い合う温か

♡ 「災害に強い町づくり」とは

道徳で人と社会を幸せに

い社会が大きな力を発揮するところを、考え直してみる必要があるでしょう。

私たちは、常日ごろから住民一人ひとりが「つながり」を実感し、助け合って暮らしていきける温かい町づくりをめざしたいものです。

その具体的な実践の第一歩として、ご近所の方々と明確に挨拶の輪が広がっていけば、どんなにすばらしいことでしょうか。

「道徳」教科化—ヒントの泉

『ニューモラルの心を育てる言葉360日』

掲載日から7日間限定で10名様に**プレゼント!**  
道徳を考える月刊誌『ニューモラル』最新号

住所・氏名・「房日新聞」を明記の上、メールまたは電話でお申し込みください。  
公益財団法人 モラロジー 道徳教育財団 〒277-8654 柏市光ヶ丘 2-1-1  
E-mail: book@moralogy.jp TEL: 04-7173-3155

2022年(令和4年)9月23日(金曜日)

みずからの努力によってなんらかの壁を乗り越えたり、自身の力で物事を達成したりしたとき、その人の心の中には自信や達成感が生まれます。周囲の人からの手助けも、達成感を味わって成長する機会を奪う結果になってしまつたら、長い目で見ればお互いの損失につながります。

手助けをしようとする人は、その行為を受ける側の個性や能力、適性などを見極めて、その人が本来持っている力を十分

♡ 共に育つ心で

道徳で人と社会を幸せに

に発揮できるように、心を配らなければなりません。どんなときも「自分も相手も、さらには第三者も含めた全体の調和を図りながら、物事を発展させていく」という、建設的な考え方に基づいて行動したいものです。

そこで相手を思いやることを心がけてこそ、周囲の人に安心と満足を与え、共に大きく成長していくことができるのではないのでしょうか。

「道徳」教科化—ヒントの泉

『ニューモラルの心を育てる言葉360日』

掲載日から7日間限定で10名様に**プレゼント!**  
道徳を考える月刊誌『ニューモラル』最新号

住所・氏名・「房日新聞」を明記の上、メールまたは電話でお申し込みください。  
公益財団法人 モラロジー 道徳教育財団 〒277-8654 柏市光ヶ丘 2-1-1  
E-mail: book@moralogy.jp TEL: 04-7173-3155